病害虫講座-42

（菜類の病害虫）

木村 裕

菜類（コマツナ、大阪シロナ、チンゲンサイ、ナバナなど）の病害虫は、ダイコンやハクサイなどと共通しているものがほとんどです。

【白さび病】

葉の裏に白色の少し盛り上がったカサブタのような物ができます。何か虫のような物がついたかのように見えます。発生初期は白色～黄色の小さな斑点がいっぱいできますが、被害が進むにつれと斑紋状に盛り上がってきます。

予防策としては、アブラナ科野菜の連作を避け、症状の出た葉は拾い集めて処分します。

【白班病】

葉に直径 5～10 ミリで白色～黄色の円形の斑紋がいくつも現れます。しかし白さび病のように盛り上がることはありません。

予防策としては、アブラナ科野菜の連作を避け、被害葉は拾い集めて処分します。

【ナガメ】

黒色と黄色のツートンカラーの綺麗な虫で、葉の上をうろうろしています。葉に口ばしを刺し込んで汁を吸うため、その部分の色が抜けて斑紋のように白っぽくなります。実害は低いので無視しましょう。

【ハイマダラノメイガ】

株の中心の葉が糸で綴られ、新芽の部分がごっそり食べられます。被害が大きいので、発生したときには殺虫剤散布をしてください。

【ヨトウムシ、アオムシ】

葉をばりばり食い荒らし、葉に大きな孔をあけます。被害に気づいたら葉裏を調べて虫を捕殺します。

【ダイコンサルハムシ】

直径５ミリ前後の青色の円い虫（成虫）が葉に小さな穴をあけます。幼虫は黒っぽいウジのような虫で葉の裏にいます。実害は低いので無視しましょう。

【カブラハバチ】

黒色のアオムシのような虫が葉を食べます。被害が目に余るときは手で捕殺します。とくに苗が小さい頃は要注意です。